



1. 目的と概要

このプロジェクト事業の目的は、一次救命処置法である BLS (Basic Life Support) および二次救命処置である ICLS (Immediate Cardiac Life Support) の知識や手技を身に付けること、そしてそれを医学部生の間に広めることにあります。さらに BLS については医学部生のみならず一般市民に対して講習会を行い、その知識を広め、地域社会に貢献することも重要な目的としています。

また、この活動を通じて、学科や学部さらには学校を超えて志を同じくした学生との交流や普段机の上では学ぶことのできない実践的な医療を学ぶことを目的としています。

活動内容は年 2 回の、学生の手によって学生を対象とした ICLS 講習会開催を軸として、学生や一般の方々を対象とした BLS 講習会の開催を不定期で行っています。

2. 実施スケジュール

今年度の活動内容は以下のとおりです。

- 2007 年 4 月 新入生を対象に BLS 講習実施 (救命センターの依頼により)
- 2007 年 8 月 学校見学者を対象に BLS 講習実施 (学務室の依頼により)
- 2007 年 10 月 学園祭にて一般人を対象に BLS 講習会開催および院内 AED マップ展示
- 2007 年 11 月 第 5 回学生による ICLS 講習会開催
- 2008 年 3 月 第 2 回学生による BLS 講習会開催
- 2008 年 3 月 中学生を対象に学外にて BLS 講習会を開催予定 (3/23)

3. 成果の内容及びその分析・評価等

今年度の私たちの活動ですが、10 月 13、14 日に医学部学園祭での医学展の一環として、一般の方を対象とした BLS・AED の展示と講習会を開催しました。トレーニング用 AED を展示し、来場した方々に実際に触って体験していただきました。「なかなか触れることのない AED に触れられて良かった。」という反響を多数いただきました。また、一般の方を対象にして BLS 講習会も開催しました。二回の講習会を開催し、受講者は計 12 人と小規模でありましたが、こちらも好評を得ることができました。



学園祭:AED の展示風景



学園祭：一般の方への BLS 講習会

さらに11月11日に「第5回学生による ICLS 講習会」を開催しました。規模は参加者12名、見学者数名、学生インストラクター20名ほどの開催となりました。開催告知直後から参加者枠がいっぱいになり、期待の高さを感じられました。講習会自体も大成功で、参加した学生からは非常に良い評価が返ってきました。本来ならばこの第5回 ICLS 講習会は7月に開催され、今回が第6回目となるはずでしたが、百日咳流行と課外活動停止があり1回しか開催できなかったのが残念です。

つづいて2008年の3月2日には、医学部生低学年を対象に「第2回学生による BLS 講習会」を開催しました。受講者は18名、学生インストラクター20名ほどの開催となりました。この BLS 講習会では成人に対する BLS のみならず、小児・乳児への BLS、気道異物除去(喉に物を詰まらせたとき)の方法を学びます。この講習会も受講生からも高い評価を得ることができました。

その他にも、4月に新入生に対しての BLS を教えたり、8月に学務室と協力して学校見学へ来た高校生に BLS を教えたりしました。



第5回学生による ICLS 講習会風景



第2回学生による BLS 講習会風景



学生による講義



胸骨圧迫をする受講生

4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

今年度感じたのは、医学部学生の中に ICLS や BLS といった言葉が浸透してきたということです。数年前は ICLS とって内容がわかる学生はほとんどいませんでした。しかし、私たちの活動が学生に知られるにつれて ICLS や BLS とは何をすることなのかを知っている学生が増えてきています。また、同級生が積極的に講習会を開催し、実践に即した内容の勉強をしている姿を見て、自分も何かやらなければならないと思う学生もいるようで

す。学生の間こうした影響を与えることができるようになってきたのはとても喜ばしいことと思います。

また、BLSやAEDを地域住民の方へ広める活動が始まりました。学園祭でのAED展示や一般の方々へのBLS講習会を開催することによって、まだまだ少しではありますがAEDやBLSの知識を一般に広めることができたように思います。このことを足掛かりに、今年度3/23日には中学生18人に対してBLS講習会を開催する予定です。この講習会の結果については報告会にてご報告できると思います。このように学生が学外に出てBLSやAEDの講習会を開催することで、地域住民の方々に一人でも多く、AEDが扱えてBLSが実践できる方を増やすことができれば、助かるはずの命が失われることを防ぐことにつながると思います。また、香川大学の学生はこうした活動を積極的に行っていると地域住民の方々に知っていただけることになると考えます。

5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等



学生がこの様な活動をする事の意義の一つとして、学生が自ら目的を持って能動的に活動をしているということがあります。とかく大学の授業は受身になりがちです。医学部に入学してきたときは医学を学ぶことに意欲的だった学生が、学年を進むにつれて自ら進んで学ぶことに消極的になっていくことが多いのも事実です。そんな中でICLSやBLSを勉強することは、単なる受け身の学習ではなく、自ら体を動かし机の上では学ぶことのできない、より臨床に即した医学を学ぶことができます。これは学生の興味を惹きつけ、学ぶ意欲を生じさせます。さらに教える側に立つためには、自らの知識をより磨く必要があります。教える立場になった途端、いままで当たり前だった知識が急に疑問に思えてくることが多くあります。そこに自ら学ぼうとする意識が生まれます。このため、この活動に参加している多くの学生が自ら意欲的、積極的に学ぶようになっています。

個々人では、勉強会のメンバーとして繰り返しBLSを勉強することによって学生の自分でも人を助けられる存在であることを自覚し始めたメンバーもいます。また、これだけの講習会を開催するにあたって、仲間の助けがどれほどありがたくて大切なものかを感じることができたメンバーもいます。いままで人前で話をするのが苦手だったのが少し克服できたメンバーなど、私たちの活動を通して、それぞれが様々なことで良い影響を受けたようです。



講習会の打ち上げにて

6. 反省点・今後の抱負（計画）・感想等

今年度の活動を振り返って、まずはICLS・BLS講習会ともに無事に成功して安心しています。夢プロジェクトに資金援助をいただいたおかげで、機材も大分充実してきましたし、それによって講習会の充実化も図るこ

とができました。残念だったのは、7月に開催されるはずのICLS講習会が百日咳の流行により開催できなかったことです。また、これにより前回の講習会から大分期間が開いてしまったため、勉強会のメンバーのモチベーションが下がってしまうのではないかと心配していました。しかし、そんな不安も吹き飛ばすほどメンバーはしっかりと活動してくれたことが代表としてとてもうれしく思いました。

さらに、今年度は一般の方々へBLSを広めていくための基礎ができたのではないかと思います。学園祭のBLSから始まって、なかなか思うように行かないところもありましたが、何とか今年度中に学外で一般の方へのBLSを開催できるところまで来ました(3/23に志度中学にて開催)。まだ未定ですが、今後、高校で定期的にBLSを開催できるかもしれません。また、高齢者施設や保育所の職員等の必要な職種の方々に対して講習会を開催できるようにすることもこれからの目標の一つとしていきたいと思えます。

反省点としては、活動を通して勉強会のメンバーは増えた一方で、メンバーの中に看護科の学生が2名と少ないことです。看護師は緊急事態に最初に遭遇する機会が最も多い職種です。将来こうした立場になる看護学生のメンバーを増やしていきたいと思えます。また、今後の勉強会を受け継ぐべき下級生も少ないため、下級生を増やすことも急務と考えます。さらに他の学部の学生もメンバーとして加えられたら活動に幅が広がると思えます。今後一般の方々にBLS講習会を行っていくにあたってはマンパワーが必要になってきます。できるだけ多くの人を集めて十分な活動ができるようにすることも今後の重要な課題と言えます。

7. 実施メンバー

代表者	浜谷 英幸 (医学科4年)	
構成員	酒井 亮太 (医学科6年)	佐藤 望 (医学科6年)
	岩本 隆志 (医学科6年)	植田 安洋 (医学科6年)
	斎藤 陽道 (医学科6年)	清水 亮 (医学科6年)
	畠村 将志 (医学科6年)	田中 千晴 (医学科6年)
	服部 靖彦 (医学科6年)	藤井 義之 (医学科6年)
	尹 泰貴 (医学科6年)	太田あゆみ (医学科5年)
	普久原朝史 (医学科5年)	本橋 伊織 (医学科5年)
	飯高 世子 (医学科4年)	石垣 里紗 (医学科4年)
	石田 有美 (医学科4年)	石橋めぐみ (医学科4年)
	大山 慶介 (医学科4年)	尾崎 洋基 (医学科4年)
	高野 英子 (医学科4年)	田中 佐世 (医学科4年)
	千代 大翔 (医学科4年)	中田 圭紀 (医学科4年)
	中野安耶子 (医学科4年)	橋本真知子 (医学科4年)
	平林 紗江 (医学科4年)	山崎 真理 (医学科4年)
	加藤 禎史 (医学科3年)	黒田 絢子 (医学科2年)
	佐藤真奈美 (看護科2年)	鈴木 健太 (医学科2年)
	森田 幸子 (医学科2年)	矢崎 文都 (医学科2年)
	吉山 沙織 (看護科2年)	